

# 農業委員会だより



鮮やかな紅色と星空のような果点が特徴の「秋田紅あかり」は甘さが際立つ品種です。(収穫作業が終盤を迎えた西目町大森台りんご生産組合園地にて)



## 新年のごあいさつ

由利本荘市農業委員会  
会長 佐藤 系 悦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
平素より本市農業委員会活動に対しましては、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は天候に恵まれ、作況指数は104の「やや良」で豊作となりましたが、一等米比率がかつてなく低く、あらためて肥培管理と防除の徹底が求められた年でした。

また、台風19号などの豪雨災害により甚大な被害を受けられた皆様には、お見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、平成26年の農地バンク制度開始以来、関係機関が一体となって農地中間管理事業を推進した結果、秋田県では5年間で1万3500haの農地が担い手に集積され、本市において同事業を活用した農地は約100haに上りました。しかしながら、中山間地域の農地集積が進まないなどさまざまな課題が生じてきているようです。

今後は農地バンク制度の見直しを踏まえ、農地の一層の集積・集約化に向けて、再整備を含む基盤整備事業を推進するとともに、関係機関・団体が連携を強めて地域の集積に取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。

また、日米貿易協定は昨年9月下旬の首脳会談で最終合意しましたが、関税を削減・撤廃する品目はTPPと同水準とし、米は除外されることとなったものの、農産物の生産と価格が維持できるのか不安でもあります。国では経済効果として、日米貿易協定がない場合に比べてGDPが押し上げられると試算しているようですが、まずは国内自給率向上に向けて、中山間地域対策や新規就農者に対する農業次世代人材投資事業等の予算削減がないようお願いしたいものです。併せて、農家所得の向上という観点から、米の直接支払交付金の復活と法制化が望まれます。

平成から令和へと元号も変わり、新しい時代になりましたが、本年も災害もなくすべての作物が豊作であってほしいものです。

本市農業委員会では、引き続き農地利用の最適化を目指して取り組んで参りますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。併せて皆様のご多幸を祈念し新年のあいさついたします。



# ゆりちゃん市場

営業時間 8:00~15:00 (1~2月は8:00~12:30)  
 休館日 毎週木曜日、お盆3日、正月3日  
 連絡先 電話0184-53-3132 FAX0184-53-3132



ゆりちゃん市場は地産地消と地域活性化を目的に開設された。由利原の高原野菜をはじめ各種野菜が棚に並ぶ。とくに高原人参は大人気で、バニラとのミックスソフトもイチ押しだ。年間を通じて野菜や漬物の品揃えが豊富。冬期間は、ワラビやミョウサク、ヤマニンジンなど「塩もの」やもち米、ネギなどの評判が上々だ。



テントでの販売から始まったゆりちゃん市場。会員の減少と高齢化の課題もあるが、「新鮮野菜を安く買えて助かっている」という声に励まされるという。出荷時に会う会員同士がワイワイ言い合うことも元気の源、ボケ防止に一役買っているとか。お客さんと直に触れ合う場があり、しかも収入になる。これも会員の活力源だ。「いらっしゃい」。元気の良い会員の声が市場に響いた。



## 本年もどうぞよろしくお願ひします

農業委員・農地利用最適化推進委員一同

- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |               |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |           |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|------|------|------|
| 村三   | 佐三   | 齋小   | 大三   | 島成   | 佐庄   | 佐伊   | 木阿   | 豊佐   | 本金   | 角伊   | 板    | 【農地利用最適化推進委員】 | 佐佐   | 齋佐   | 古岡   | 佐小   | 小佐   | 大佐   | 佐佐   | 畑佐   | 庄石   | 富眞   | 遠熊   | 大    | 【会長職務代理者】 | 佐    | 【会長】 |      |
| 上船   | 藤浦   | 藤野   | 庭浦   | 山田   | 木司   | 藤藤   | 村部   | 島藤   | 間    | 谷藤   | 垣    | 藤             | 藤    | 木    | 関部   | 藤松   | 野藤   | 瀧藤   | 木山   | 藤司   | 井櫻   | 坂藤   | 谷    | 弥    | 系         | 悦    |      |      |
| 勘源   | 善    | 晃朋   | 幸    | 敬由   | 昭    | 勝長   | 靖榮   | 清長   | 一利   | 和知   | 純幸   | 五喜            | 幸眞   | 秀浪   | 俊留   | 美和   | 公平   | 幸正   | 正    | 博    | 博    | 博    | 博    | 博    | 博         | 博    | 博    |      |
| 保一   | 樹信   | 衛一   | 和夫   | 実一   | 美一   | 順剛   | 三郎   | 喜一   | 初二   | 栄正   | 明    | 子榮            | 誠一   | 子郎   | 勝夫   | 一孝   | 雄和   | 亨子   | 崇夫   | 勲一   | 通男   | 博    | 博    | 博    | 博         | 博    | 博    |      |
| (鳥海) | (鳥海) | (西目) | (西目) | (東利) | (東利) | (大内) | (大内) | (大内) | (大内) | (由利) | (由利) | (由利)          | (岩城) | (岩城) | (矢島) | (矢島) | (本莊)      | (大東) | (大東) | (由利) |

# やさい王国

営業時間 9:00~17:00(11~3月は9:00~16:30)  
休館日 12月31日~1月3日  
連絡先 電話0184-55-2560 FAX0184-55-2562



ひときわ目立つ大看板に誘われてやさい王国へ。矢島の玄関口に位置する王国は年間を通じて商品が充実している。旬の野菜や山菜、漬物、ジャージー牛乳・ソフトのほか、松皮もちや切り花が人気だ。出来秋の新米、こうじ・みそなども喜ばれている。安全・安心で新鮮な旬の野菜の提供を心がける。食堂ではうどんやそばも食べられる。



くろみの里(障がい者地域活動支援センター)の加工品や水耕栽培で育てたレタスの販売など、「矢島とつながる」こともテーマだ。「商品が売れることは大事だが、人が動くことで矢島地域が生き生きすることに貢献したい」と担当者の方。

年末に、新米や地元の味噌、漬物、きりたんぽ、比内地鶏スープ、リンゴなど、矢島の味と心を宅配する「鳥海高原まるごと便」も評判。11月中旬に申込みが必要。県外の大切な人に届けたい。

# 菜らんど

営業時間 8:30~18:00  
休館日 12月31日~1月2日  
連絡先 電話0184-57-3797 FAX0184-57-3797



野菜や山菜、漬物、リンゴ、ブドウ、鳥海りんどう、百宅そば、松皮もちなどが、季節ごとに店内を彩る。菜らんどのもットーは「良質な商品を提供し続ける」こと。冬期間はリンゴ(ふじ)やハクサイ、塩漬けなどが主力。鳥海りんどうは7月から11月まで楽しめる。



リンゴやブドウ農家は、自家販売以外の全量を菜らんどに出荷しているという。新しい野菜や品種に挑戦する会員も多く、サクランボ栽培を始めた農家もいる。地元直売所への大きな期待が感じられる。

「新鮮なものが豊富なので、娘に会いにくるたびに立ち寄る」とは宮城県鳴子から訪れたお客さん。四季折々のものを遠方に贈るリピーターも多く、贈答用リンゴも人気だ。

関連施設と合わせて売り上げは1億円を超えた。「売れるからもっと良いものを作ろう」と農家のチャレンジはこれからも続く。

# 農政転換への挑戦

そば作り特集

## 東由利地域

### (農)やしおそば

減反政策が加速するなか、転作困難な耕作放棄地を解消しようと、平成12年に「やしおそば生産組合」を設立し、そばの栽培を始めました。平成27年には「農事組合法人やしおそば」に名称を変更。栽培面積も80aから50haに拡大し、現在は82人の組合員が経営にあたっています。



東由利地域ではそばを食する文化は希薄ですが、湯楽里にある「食事処やしお」と「八塩いこいの森センターハウス」では、東由利産そば粉を使用した食事を提供していただいています。

また、昨年10月には観光協会と協賛して、「ひがしゆり新そばまつり」を開催し、そば打ちを上演したり、十割手打ちそばを提供させていただきました。今後も、そば栽培が農家所得の向

上と地域の活性化につながるよう、いろいろな事業を展開していきたいと考えています。

## 鳥海地域

### 農作業受託集団三稜会

農作業受託集団三稜会は、そばの刈り取りから販売までを受託する団体です。作付けと肥培管理などはそれぞれの耕作者が行っています。現在の受託面積は、地元鳥海のほか岩城や大内の農地を合わせて約150ha、令和元年は豊作だったこともあり、集荷量は70トンに達しました。

9月中旬から10月までは刈り取りと乾燥作業が真っ盛りで、刈り取り機5台がフル稼働。遠い圃場や条件の悪い圃場もあり、作業を終えた皆さんが無事に笑顔に戻った時がホッとする瞬間です。

大量の集荷袋を倉庫から検査場に搬出し、再び倉庫に戻す作業が大変



で、効率的な方法がないものかと考えてしまいます。県内の販売が主力ですが、東京や

## 地域の話

薄暮の出羽伝承館前庭で稲架がけする農夫らの姿。「大変だごど。頑張るねが」。来館者が声をかけても返事はない。なんと彼らは「かし」だった。こんなエピソードが毎年同館に届くという。

同館の運営支援会議の支援委員が、4年前にJR利用者にかけて数体のかかしを展示したのが始まりで、2年前から昔の農作業の様子をか



かして再現したところ評判に。思わず声をかけてしまうほど、完成度が本当に高い。

農村地域の歴史と伝統文化の伝承施設として同館はオープンした。今は使われることのない一昔前の農機具や野良着などを常設展示しているほか、図書室も併設。干し柿を吊るし、ハロウィン人形を展示するなど、来館者が季節を感じられる工夫にも余念がない。今にも動き出しそうなかかしの展示もこの一環だ。昨年は9月中旬から10月末まで展示。今年もリニューアルする予定だそう、担当する支援委員の方の説明にも力が入る。乞うご期待。

毎日は大変。1ヶ月だと遅い。そんなあなたに

まとめて読める！  
週刊紙

# 全国農業新聞

週刊

月4回金曜日発行  
月700円、年8,400円  
(消費税込)

- 様々な問題に、じっくり鋭く、迫ります。
- 充実した経営情報と流通の現場情報を伝えます。
- 農地を守り、担い手を応援する農業委員会活動を伝えます。
- 地域を元気にする情報を提供します。

購読申込は農業委員会事務局または各総合支所産業課内庶務班まで。



半田さんのミニトマトは昨年の種苗交換会で2等賞に輝きました



# 農業にチャレンジ!

本庄地域 川口 半田

弘子(41歳) 淳(39歳)

早いもので就農してから2年が過ぎました。現在はハウス4棟で栽培するミニトマトとスナップエンドウのJA出荷が主力になっています。なすやパプリカ、ピーマン、ネギなどの露地ものは、少量多品目でスパーの産直コーナーなどで販売しています。

以前に市内の農園で働いていたこともあり、野菜作りのノウハウは分かっていたつもりでしたが、田んぼを借りての畑作はなかなか思うようにはいかず、苦労しています。

そんな時には、勤めていた農園や近隣の農家さんからのアドバイスをと情報交換が大きな助けになっており地域の皆さんに支えられていることを実感する瞬間です。

私には子どもの頃から農業に憧れがありました。矢島で稲作に取り組んだ祖父の背中を見て手伝ううちに、農業を職業にする目標が芽生えたのだと思います。今でも、矢島の畑ではサツマイモ栽培にも取り組んでいます。

ミニトマト栽培の流れが少しは見えてきたものの、畑の排水や土作り、病害虫対策などの課題のほか、収穫最盛期は働く時間も長く大変だと思うこともあります。父の助けもあり充実した日々を過ごしています。

3年目の今年は、ハウスを1棟増やしてミニトマトを増産したいと考えており、全量をJA出荷できるような品質向上に努めたいと思います。安定した収入が得られるのはまだ先かなと感じながらも、お客様に安心して新鮮な野菜が届けられるよう努力し続けていきたいと思っています。

(佐藤和子委員)

## 生涯現役

大内地域北福田

佐藤 武 (79歳)・榮子 (76歳) ご夫妻



いつもやる気は満々であったが、何かと少しずつ作業がのろくなってきた。例年なら、もう出荷していたはずのルッコラをようやく播種した。1カ月半以上も遅れている。3日目に双葉が一斉に出てきた。何とも言えないかわいさにしばらく見とれてしまった。わくわくする気持ちがうれしくてたまらなかった。

冷凍庫に入れておいた種がようやくお日様に出合えて黄緑色になっている様子を見ると、「やっぱりへたでもやれるだけは野菜作りを続けるか…」とってしまう。何しろ、ほとんどの野菜とは一年に一回しか出合えないことを思うと、もっと手際よくていねいに手入れをしようと思っている。

いろいろな失敗の連続であるが、失敗には大変もったもんな理由が必ずあった。ほとんどは苗を作り過ぎて密植し、手入れが行き届かず、さらに収穫しきれず、しかも片付けの適期を逃して次の作業が遅れていた。「この年齢になったのだから適量をしっかり世話しよう」というのが、いつもの深い反省点である。

主人から「いっぱい作り過ぎたのなら加工品を工夫したらどうだ」と言われ、「体は一つしかないよ」といながらも、加工品にすれば野菜のためにもなる、と考え中である。



「なしてそう働くじゃ」

「もっとゆっくりせば…」とよく言われる。

退職してから野菜作りに取り組んでいるが、いつも脳裏に浮かぶのは、私の老父母が体をいたわりながら、楽しそうに、うれしそうに米作りと野菜作りをしていた姿である。

母は「人間は死ぬまで働くもんだ…」とよく言っていた。今、主人が耕しと収穫、私が播種・世話というかたちで細々とやれるだけ頑張っている。野菜は私たちが癒やしてくれ、元気をくれることを実感している。

(石井勲委員)



息子の卓朗さん(28歳)と。米作りに詳しく頼もしい後継者です。

やはり種まき、草刈りが一番の苦勞です。繁忙期は私の友人や息子の友人が手伝いに来てくれるのでとても助かっています。春の田植えと秋の稲刈りが終わったあと、家族や友人たちと苦労話や来年の抱負について

父から農家を継いで約10年。現在も会社に勤めながら兼業で農業をしています。父が現役のときは草刈りくらいしか手伝っていませんでしたが、平成21年に父が亡くなり、自分が米作りをすることになりました。主な品種はひとめぼれで、分からないことは集落の人たちに聞きながらやっています。1・8haしかなかった田んぼの耕作面積が、今では10haまで増えました。母は5aの畑でセリなどの野菜を栽培して農協に出荷しています。

て語りながらお酒を飲むことが何よりの楽しみです。夫婦二組で総勢十数人にもなるため、自宅だけでなく本荘のお店で宴会をすることもあります。若い人たちが農業に意欲的で色々な考えを持っているのが頼もしく、「また手伝いに来てくれるからもう少し田んぼを増やそうか」という気持ちになります。やはり地域で受け継いできた田んぼを荒らしたくないので、これからもできる範囲で面積を増やしていければと思っています。



# 頑張る営農者

由利地域町村 巴とまへ 寛ひろし (58歳)



妻と息子の嫁は農業経験がありませんでしたが、今ではコンバインに乗れるようになり私が稲運びをすることもあります。毎年の「秋の収穫祭」を楽しみに、家族皆で協力し合いながらこれからも農業を営んでいきたいです。

(熊谷正博委員)

## 農業者年金に 担い手積立年金 加入しませんか?

～老後の備えは国民年金プラス農業者年金で安心～

加入するとメリットがいっぱい!

- 少子高齢化に強い積立方式・確定拠出型
- 農業の担い手には保険料補助
- 保険料は全額社会保険料控除
- 終身年金で80歳までの死亡一時金あり
- 保険料の額は2万円から6万7千円まで千円単位で自由に設定できます
- 加入・脱退は自由

### 加入要件

- ①～③の全てに該当している方ならどなたでも加入できます
- ①年間60日以上農業に従事
- ②国民年金の第1号被保険者
- ③20歳以上60歳未満の方

[問い合わせ]

由利本荘市農業委員会事務局 ☎0184-24-6260  
各総合支所産業課内庶務班  
JA秋田しんせい 各支店 農業者年金担当



こんな方におすすめ!

- 農業経営者の奥さん
- 農家の後継者
- 自営業の兼業農家
- 早期退職後に農業を始めた方 など

## 編集後記

発行にあたり、お忙しいなか寄稿くださいました皆様、本当にありがとうございます。おかげさまで営農に対する熱い想いを読者にお届けすることができました。

时期的なこともありかありませんでしたが、しめ飾りや門松づくりなども地域の話題の候補に挙がりました。

農業は経済活動であると同時に、地域に根ざした食文化や年中行事を育むものでもあると思います。これからも皆様の想いととも、地域の

話題を紹介してまいりたいと思いますので、ご意見などお寄せいただければ幸いです。(佐藤崇委員)

### 農業委員会

◆本 庁 (事務局)	TEL24-6258
農 政 班	TEL24-6259
農 地 班	TEL24-6260
	FAX24-6396
◆各総合支所 (産業課内)	
矢島庶務班	TEL55-4957
岩城庶務班	TEL73-2014
由利庶務班	TEL53-2114
大内庶務班	TEL65-2804
東由利庶務班	TEL69-2116
西目庶務班	TEL33-4614
鳥海庶務班	TEL57-2205

### 広報委員

- 石井 勲・古関 幸子・熊谷 正博
- 佐藤 崇・畑山留美子・佐藤 喜勝
- 齋藤 誠・佐藤 和子